

ブーゲンビリア輝く国に育つ、指導員教育のリーダーたち

— グアテマラ共和国から世界へ情報発信する日をめざして

東京農工大学 教授
 (グアテマラ共和国職業訓練庁
 INTECAP 元短期派遣専門家)

森 和夫

1. 二度目のグアテマラ共和国

中米カリブ諸国のひとつにグアテマラ共和国がある。メキシコの東に位置する美しい国である。映画「スターウォーズ」のシーンにも使われたティカル遺跡の神殿はここにある。四季を通じてきれいな花々が咲



グアテマラの位置



咲き誇るブーゲンビリア

く国でもある。特にブーゲンビリアの花は輝いて見える。JICAから短期派遣専門家として前年に続き、二度目のグアテマラ派遣となった。派遣期間は二〇〇四年七月八月の二九日間、同行者は地域保健分野で優れたカリキュラム開発実践を残している國分恵子氏である。成田からグ

アテマラへはアメリカで一泊して入る。行きは二日間、帰りは三日間の計五日間を旅で費やす。決して近くないこの国に親しみを感じるのには、国民性が日本人に似ているからではないか。南米のようなとびきりの明るさではなく、控えめな明るさだ。外務省のホームページによれば人口は一一八八万人(二〇〇一年、国立統計院)、内戦終結が一九九六年一二月とある。主な産業は農業で、コーヒー、バナナ、砂糖、綿花などを輸出する。近年になって繊維加工などの産業を誘致するようになってはいるが、観光収入が多く、これを国の柱に据える取組みが進んでいる。内戦終結から八年程度でもあり、治安は良くない。不幸な事件、犯罪が多発する。ホテルから五〇m

の範囲だけが私の徒步行動圏であった。近くの日本大使館やJICA事務所も自動車利用が日常となる。

2. グアテマラとPROOTSの出会い

職業訓練庁INTECAP (Instituto Tecnico de Capacitación y Productividad) は国内に一九の訓練センターを持ち、職業訓練指導員は約七〇〇名を擁している。指導員の資質向上を目的として養成・再訓練のために、指導技術訓練システムPROOTS (Progressive Training System for Instructor) の導入を進めてきた。INTECAPではこの中から「A-技能技術教育と指導員の役割」、「B1-訓練ニーズ把握と



INTECAP の外観



INTECAPの玄関

コース設定」、「B2」訓練プログラム編成の方法」、「B3」訓練評価の進め方」、「C1」学習指導の基本」、「C2」講義の進め方」、「C3」実習の進め方の基礎」セミナーを推進している。

このシステムは一九八九〜一九九二年に筆者他の関係者によって開発したもので、全一三巻のテキストお

よび指導用マニュアル、教材他を指している。システムがこの国に導入されたのは単に指導員研修だけでなく、指導員が企業支援をする際の方法を確立させたいというニーズがある。長期派遣専門家として活動していた水野 新氏によってこの出会いがもたらされたものだ。二〇〇二年にマスター（現職指導員対象）セミナーをINTECAPで実施し、同年一〇月〜二〇〇三年一月、中米・カリブ地域への普及促進を目的に

「地域特設中米・カリブ職業訓練向上セミナー」が職業能力開発総合大学校で行われた。ここでは中米・カリブ諸国の指導員に対して、グアテマラのリーダーがスペイン語で直接指導した。以降二〇〇三年、二〇〇四年に日本とグアテマラを行き来しながら、マスター、リーダーが育つていったのである。PROTSは現在、各国で導入されているが、この国ほど効果的に、しかも水準高く展開されている国を知らない。

3. 過酷なリーダーセミナー、そして感動

私たちの業務は、①訓練現場でのPROTS実践の蓄積化、②マスタ

ー修了者の増加、③自国リーダーによるリーダーセミナー実施、④自国リーダーによるセミナーの企画運営と管理の実施、⑤PROTS実施機関等の組織化への支援である。

リーダーセミナーは、受講者と指導者の負担が大きく、過酷な研修といえる。最低でも一日八〜一〇時間の学習や活動が求められる。マスターセミナーは、リーダーセミナー受講者が（模擬講師を）担当し、これを「地域特設中米・カリブ職業訓練向上セミナー」修了者が指導する。私たちは、両セミナーに関して指導と支援を行った。リーダーセミナー受講者は指導の直前まで内容理解とリハーサルを重ねている。PROTSには効果をあげるための種や工夫



リーダーセミナー風景



マスターセミナーの様



訓練会場である第一訓練センターの中庭

がちりばめられているので適切にアクションしなければならぬ。場面によってはエンターテインメント性が求められる。これを繰り返し練習し、会場がどよめくくらいの反響があると、すぐ会場に行って褒め称えたものである。彼らの感動は私たち

の感動でもあった。セミナーは順調に推移し、新たにリーダー四名とマスター一五名が誕生した。

4. PROTS実践報告研究大会から世界への情報発信をめざして

私たちはセミナー期間中に二回に分けて特別講演を行った。テーマは「CUDBASへの招待ーカリキュラム開発と評価の革新」、医学教育の革新に向けた取組みーCUDBASの新しい展開」、「日本における厚生行政の政策形成と保健師の活動」、「高等教育の課題と改善活動ーPROTSを適用して」、「講義の方法ーPROTSの発展として」の合計九時間の講演である。会場には、セミナー受講者の他に招待出席者も多く来場された。CUDBAS (Curriculum Development Method Based on Ability Structure、クドバス)とはカリキュラム開発手法で、小集団活動によって行われる。PROTS「B2ー訓練プログラム編成の方法」セミナーで学ぶ内容だ。厚生省、国立カルロス大学、看護学校など関係機関の管理者・指導者・研修担当者が多数

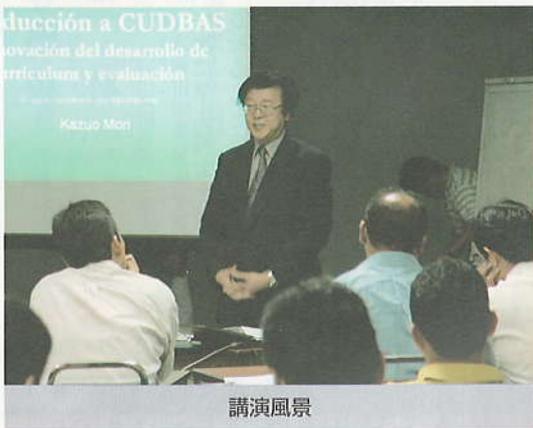
参加した。PROTS適用の新しいマーケットに対する呼びかけは予想外の反響があった。とりわけCUDBASは彼らの人気を集めていた。また、「PROTS実践報告研究大会」を二日間開催した。発表者は昨年までのPROTSセミナー修了者たちである。第一日は五地域から代表者が報告した。印象に残っているものでは南地域のサトウキビ栽培の指導員の採用チェックリストの作成がある。CUDBASの応用例としては秀逸である。第二日は今回のマスターセミナー受講者によるPROTS活用プロジェクトの発表三件とリーダーセミナー受講者の課題報告四件である。また、私からは「PR

OTS研究所構想」を発表した。

PROTSシステムが多くの国々で活用できることは、これまでの海外技術協力の経過で検証されてきた。しかし、一層の拡大には日本だけでなく、他国からの情報発信がないと成り立たないと考えられる。世界への情報発信基地としてグアテマラがその最も近い距離にあることは確かなように思う。そのためにもPROTS実践サポーター、PROTSリーダー活動の促進、中南米地域へのセミナー展開、新規マーケットへの展開、PROTS教育研究機関開設は重要な位置をなすだろう。事例の蓄積、研究開発、情報発信はグアテマラから行われることを期待し、

その日のくることを願っている。

- 関係するホームページアドレス
- ・ グアテマラ共和国職業訓練庁 INTECAP <http://www.intecap.org.gt/>
- ・ 森和夫グアテマラ2003活動 <http://www.geocities.jp/morika58/>
- ・ 森和夫グアテマラ2004活動 <http://www.tuat.ac.jp/~smori/guatemala/index.htm>
- ・ CUDBASカリキュラム開発手法 <http://www.tuat.ac.jp/~smori/CUDBAS.htm>



講演風景



南地域実践報告の模様



大会会場風景